学校番号	3018

令和２年度　**芸術**　科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	（1）単位	年次	(3) 年次
使用教科書	Ｊｏｙ　ｏｆ　Ｍｕｓｉｃ						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽的成長を目指します。
・歌唱、器楽を中心にソルフェージュ力を高めます。
・様々な表現形態による、歌唱・器楽の特徴を理解し、表現能力を高めます。
・生涯にわたり音楽を楽しむ力、芸術文化を楽しむ力を育てます。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽を表現することに喜びを感じ、音楽的な表現方法や音楽文化への理解を深め、積極的に表現や創造活動に工夫して取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて個々に応じた表現意図をもっている。	創意工夫を生かし、深く音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考え、音楽表現の特徴について理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	ソルフェージュ力を高め	【聴音演習】 曲を聴き取り、速く正確に楽譜に書き取る。 【視唱】曲を正確に歌う。	○		○		a:音楽的な基礎的な内容理解や音楽的演奏表現に、積極的に取り組もうとする。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、いかに深く表現するか、表現意図をもっている。 C:深く音楽表現をするための技能を身に付、正確に伝える技能を磨く。 D:音楽表現の特徴について理解を深め、歴史的背景を理解しながら、聴いている。	観察・演奏の聴取・ワークシート
	音楽史、音楽理論の理解を深めよう	【音楽史】 教科書の基礎的な内容を理解する。 【音楽理論演習】 音楽理論問題の演習を行う。	○		○	○		
	演奏表現を高めよう	【演奏演習】 声楽・器楽 自分に適した課題曲を設定し、音楽的表現を高める。	○	○	○	○		

※　表中の観点について　　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫

c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。